

## 令和2年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

# 小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

近年、人類の経済活動により破壊されつつある自然環境を保護しようとする取り組みが、様々な製造業やサービス業で行われてきました。最近では、プラスチックゴミによる生態系への影響が世界的な問題となっています。同様に、本来、生態系との共存が最も重要であるべき農業・畜産業・林業分野でも自然環境への負荷を解決しようとする新たな取り組みがなされています。そこで、農・畜・林業の様々な要因によって引き起こされている自然環境や生態系への負荷ならびに問題について具体的な事例（身近な事例から世界的な事例でも構いません）を挙げ、それらを解決するための方策や手法を「多様な視点」から論理的に 1000 字以上、1200 字以内で述べなさい。

## 令和2年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

# 小論文

### 農学部 亜熱帯農林環境科学科

#### 出題の意図

この小論文での問題は、農学部のアドミッションポリシーにおいて「農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍する人材の育成」を掲げていることから、農業の自然環境への負荷に関する問題を取り上げ、農業生産に対する基礎的な知識や問題点を問う問題として作成した。さらに、本学科のアドミッションポリシーである「(1) 生物資源・環境の機能や特性の解明に興味を持ち、(2) 生物生産と自然環境との調和を目指し、(3) 生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献する人」に関連する内容を、「農・畜・林業」と「自然環境への負荷」に関わる問題点の考察を介して記述させるものである。また、今回は課題解決のための策を問うことで、志願者が発想力、論理性および自分の意見をまとめる能力を兼ね備えているか否かを評価する。